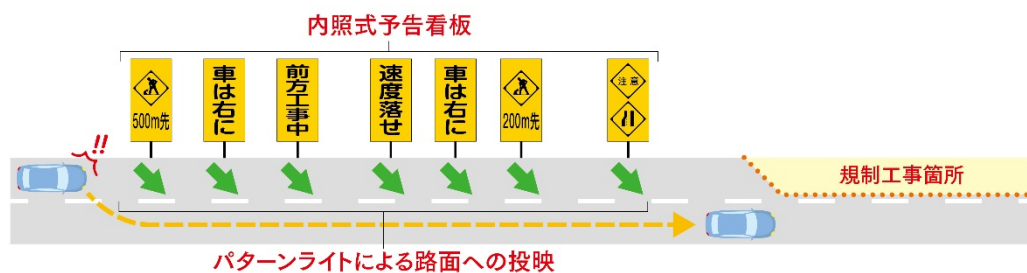


—安全誘導システム— 『ほたるいか』の運用開始

高速道路上で規制を伴う工事は、規制工事箇所の手前に予告看板を設置することで、お客さまへ工事をお知らせし、早めの車線変更をご案内しています。しかしながら、規制の案内に気付かず、規制内へ車両が進出した場合、お客さまや作業員の命に関わる事故へ繋がる恐れがあります。

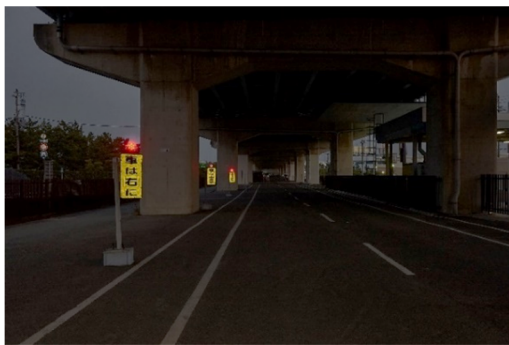
阪神高速技術株式会社では、そのような事故を防ぐため、2019年からお客さまに安全に分かりやすく車線変更をご案内する、安全誘導システム『ほたるいか』の技術開発に取り組んでおり、このたび、大阪府域から運用を開始することとなりました。



運用イメージ

【運用概要】

これまでの予告看板を点滅させることで、お客さまが遠方からでも工事規制に気づきやすくなり、矢印を路面に投射することで、車線変更の方向・タイミングが分かりやすくなり、安全でスムーズな車線変更を可能とします。



従来規制



『ほたるいか』規制

【名前の由来】

使用時の見た目から、内照式予告看板の点滅をホタルおよびパターンライトから照射される矢印の形状をイカの姿に見たて、お客さまに親しまれやすいように『ほたるいか』と名付けました。

ほたる部
(内照式予告看板)



いか部
(パターンライト)

ほたるいか使用状況



内照式予告看板



パターンライト®

(*)パターンライトはDNP大日本印刷の登録商標です。